

深谷市授業スタンダード

確かな学力を身に付ける授業づくり

【授業の流れ・指導のポイント・板書の例】

【中学校】

深谷の子「6つの誓い」
深谷市授業スタンダード
国語授業ベーシック
社会授業ベーシック
数学授業ベーシック
理科授業ベーシック
英語授業ベーシック
深谷市スタイル

p1
p2
p3～4
p5～6
p7～8
p9～10
p11～12
p13～24





深谷の子「6つの誓い」

しづさわ えいいち おう ころ ち ふかや きょういく
 深谷栄一翁の心を受け継ぐ深谷教育

ちゆめ ちふかや こ
 夢とこころざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子



りっしん せいしん ゆめ
 立志の精神(夢とこころざし)



ちゆうじよ ころ ち ふかや おも
 忠恕の心(まごころと思いやり)



わたし
 私は、

夢

む どりよく
 に向かって努力します。

夢は、人生を豊かに
 します。
 目標を立て、日々努
 力し、「こころざし」
 としてかかげていきま
 しょう。



3×5
 4÷2

わたし
 私は、

毎日勉強

します。

真剣に授業にのぞみ
 学び合うなかで、学力
 は定着します。
 家庭でも計画を立て
 て、毎日学習をしまし
 よう。



わたし
 私は、

ちようせん
 たくさん挑戦、

体験

します。

実際に身をもって学
 ぶことで、新しい発見
 ができます。
 今までやっていなか
 ったことにも挑戦し、
 体験を広げていきま
 しょう。



わたし
 私は、

すすんで あいさつ

をします。

あいさつは、社会生
 活の基本です。
 「おはよう」「いってきます」
 だれにでも、気持ち
 をこめて、笑顔で元氣
 にあいさつをしまし
 ょう。



わたし
 私は、

ぬ
 脱いだ

くつを そろえ

ます。

くつそろえは、気持
 ちを整えることにつな
 がります。
 いつでもどこでも、
 自分のくつはもろろん
 周りのくつも、そつと
 そろえてみましょう。



わたし
 私は、

心のこもった ことば

をつかいます。

「ありがとう」「どういたしまして」
 「ごめんなさい」「大丈夫です」
 支え合い、助け合い、
 人への思いやりは、温
 かい言葉となって表れ
 ます。ことばを大切に
 しましょう。

深谷市 授業スタンダード

導入

1 授業の目標（ねらい）を提示する！

- 本時の目標を明確に示しましょう。
- 具体物を用意したり、ICT機器を使ったりするなど子どもが課題をとらえやすくするとともに、意欲がわく課題の提示を工夫しましょう。
- 授業の流れを見通す活動を取り入れましょう。

展開

2 自分で考える活動を確保する！

- 活動時間を十分に確保しましょう。
- 既習内容を活用したり、教材（本文、資料など）を根拠にしたりして、自分の考えを表現させましょう。
- 教師が、指示やヒントを何度も出すことはひかえましょう。

3 仲間と学びあう活動を取り入れる！

- 友達の考えを共感的に受け止める学習集団を育みましょう。
- 自分の考えを他の人にわかりやすく伝えることを意識させましょう。
- 本時の目標を達成するために必要な考えや意見を取り上げましょう。
- 発表して終わりではなく、子どもたちが考えを比較検討したり、考えを高めあうような話し合いができるように工夫しましょう。（※参照）

まとめ

4 学んだことを実感させる！

- 本時の目標にてらして、授業のふりかえりをしましょう。
- 子どもたちが、授業で「わかったこと」「できるようになったこと」を実感できるようにしましょう。

【中学校 国語ベーシック】 2年「タオル」・（読むこと）



【本時で身に付けるべき言葉の力は何か】

学習指導要領から

第2学年、「読むこと」の指導事項イ、「文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。」

この教材において身に付ける言葉の力のために、本時でどのような学習活動を行い、その際にどのような学習内容をおさえるべきなのかを、明確にすることが重要である。

【授業の流れ】

前時までの学習を振り返る

本時の学習課題をつかむ

見通しをもつ

本時の学習場面を読む

各自で読み深める

グループ内で発表

まとめ

振り返り

指導のポイント

○前時までの学習を想起させる。

○課題は、本時のまとめと正対するように設定する。課題を声に出させて読ませることで意識を高める。

○どのような学習活動を行い、課題を解決していくのかが分かるように、具体的な学習活動を示す。

○学習場面を理解することが目的であるため、教師による範読や、読むことが上手な児童を指名するのがよい。

3
点
セ
ット

※ここがポイント

- ・押さえる表現
- ・押さえ方
- ・答え

○考えを共有し、友達の考えを参考に、自分の考えを高める。

○板書や児童の発言等を生かしながら、課題についてまとめる。まとめの音読を入れるなどしてもよい。

○本時の学習課題に正対した振り返りを行う。

国語は、系統的に指導することが難しい
というけれど・・・

国語における系統的な指導を行う際に大切なことは、この授業で身に付けるべき言葉の力が何なのかを、学習指導要領に立ち返り、常に意識して授業を行うことである。

- ① 音読をする
 - ② 「涙」に着目して、少年の気持ちの変化を描写している言葉にサイドラインを引く
 - ③ サイドラインを引いた言葉から分かる気持ちをノートに書く
 - ④ グループで発表し、考えを交流する
 - ⑤ まとめ
- ※このように具体的に伝えるとともに、黒板に掲示しておくとうい。

※「押さえ方」は、「涙」をキーワードとして、少年の気持ちが分かる言葉にサイドラインを引く

少年の気持ち

「なのに、涙が出てこない。悲しいかどうかもはっきりしない。」 (押さえる表現)

→祖父の死を受け止められないでいる。(答え)

「急に寂しくなった。涙は出なくても、だんだん悲しくなってきた。」 (押さえる表現)

→祖父が遠くに行ったような気がして悲しくなっている。(答え)

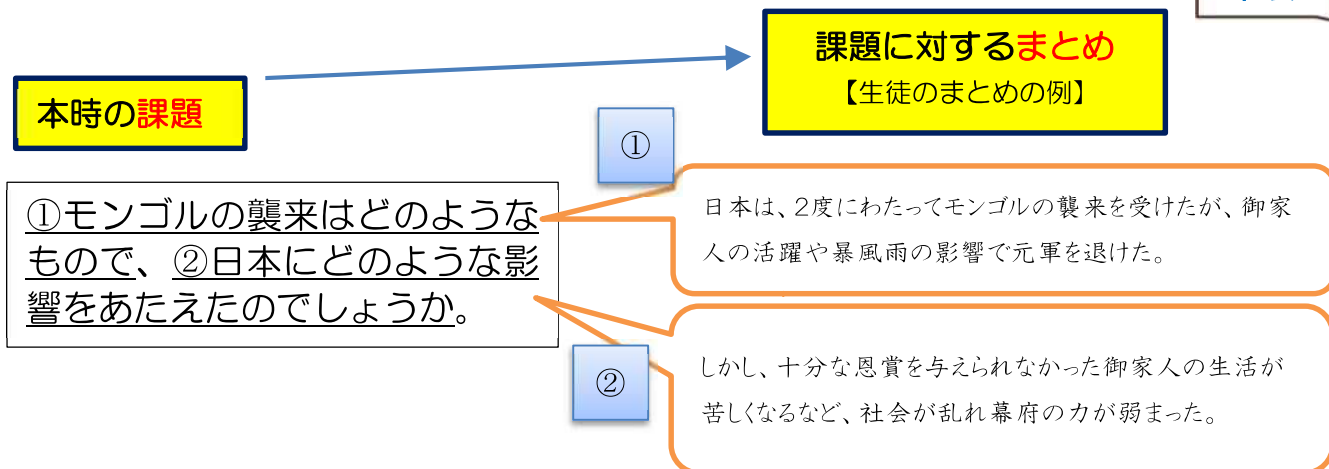
「まぶしさに目を細め、またたくと、熱いものがまぶたからあふれ出た。」 (押さえる表現)

→タオルを通して祖父の死を実感することができ、悲しみが襲ってきた。(答え)

【中学校 社会ベーシック】歴史的分野「モンゴルの襲来と日本」

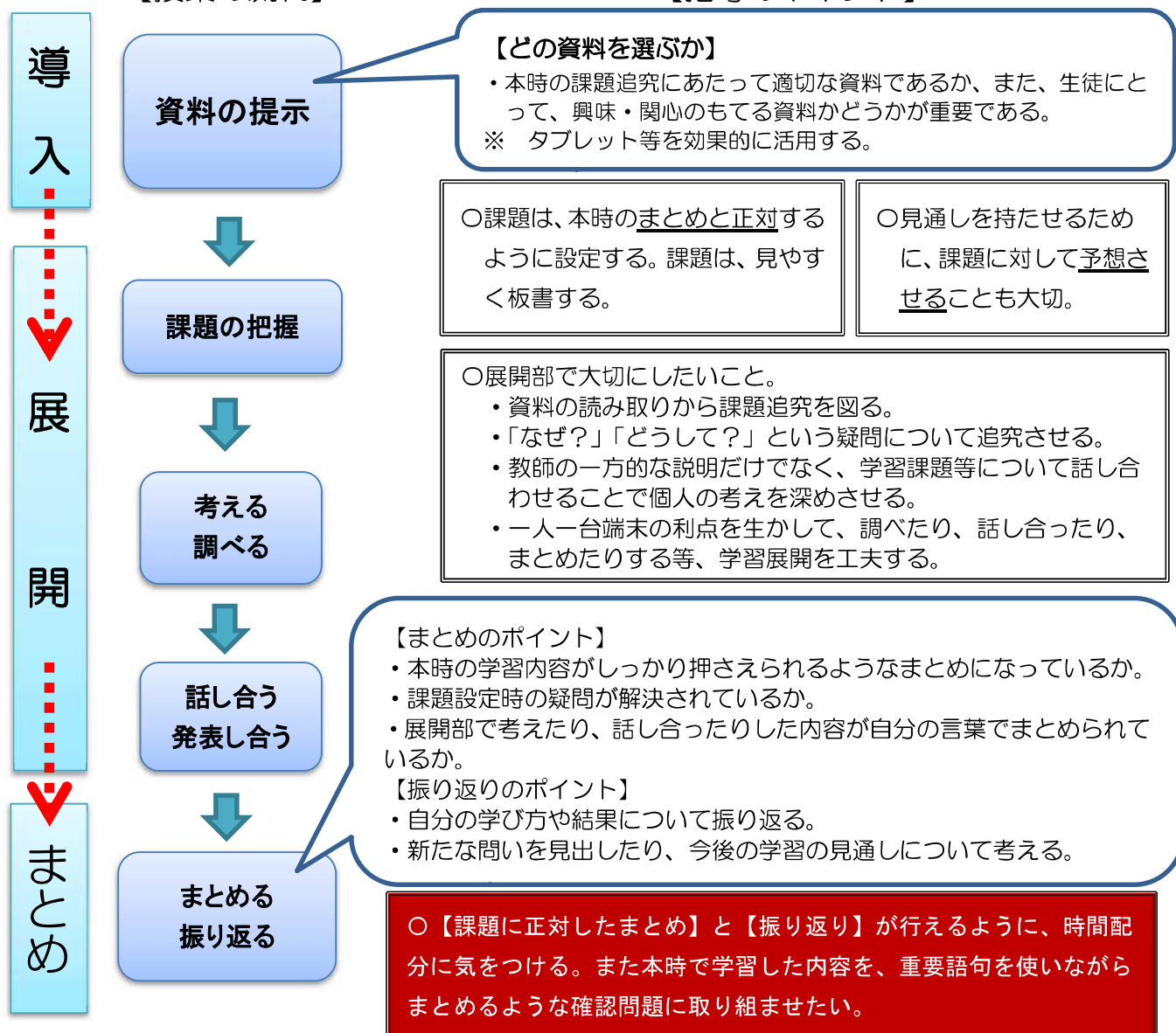


【本時の課題に対するまとめになっているか。】



【授業の流れ】

【指導のポイント】



【中学校 社会ベーシック】歴史的分野「モンゴルの襲来と日本」

【小中一貫の視点】

- 歴史は、小6で学習する内容。歴史的分野だけでなく、小学校の教科書を参考にしながら小中のつながりを大切に。

【資料の提示】

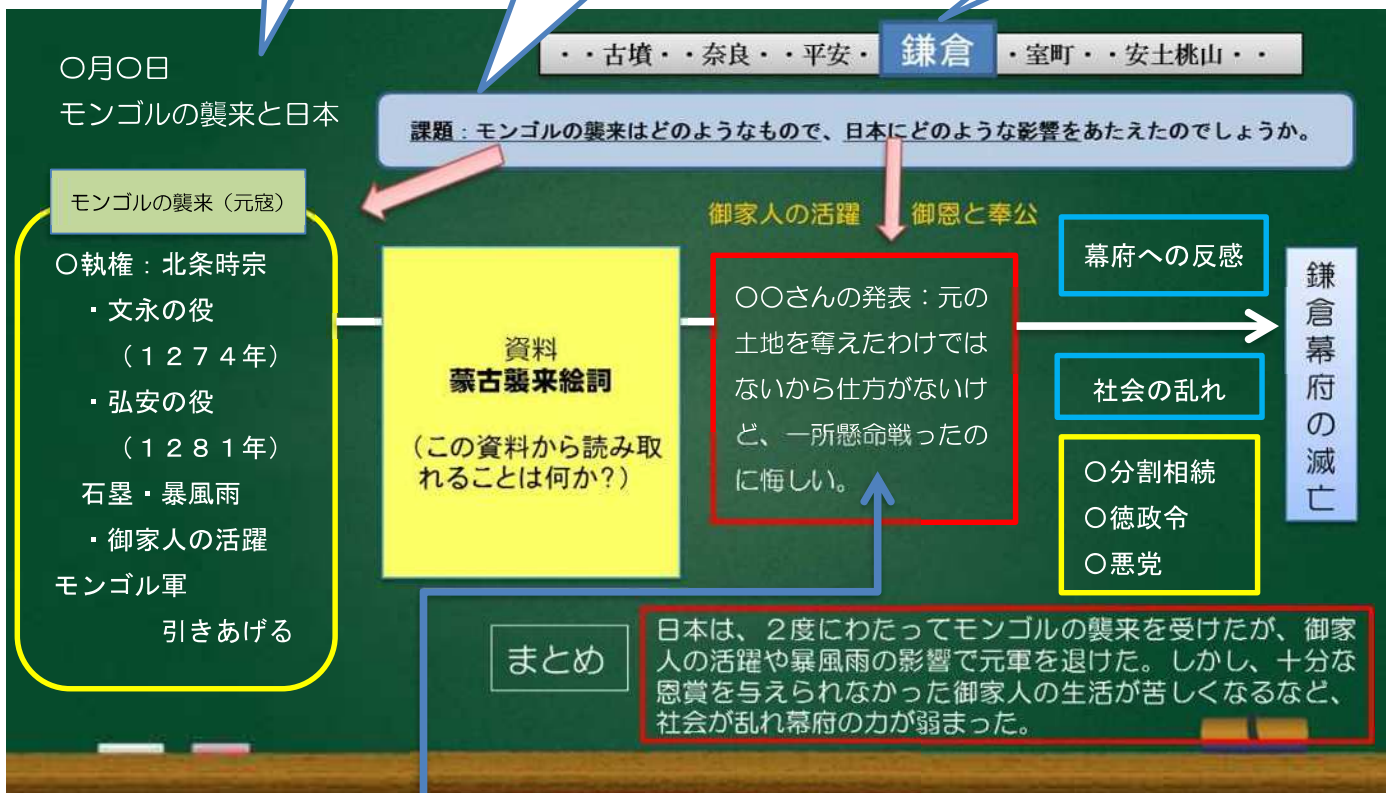
- 本時の課題追究に適した資料を選ぶ。あれもこれもではなく、中心となる資料をしっかりと読み取っていくことが大切。
- ICT機器を活用しての資料提示も効果的
本時は「蒙古襲来絵詞」

資料が命

【歴史は大観が大切】

- 今日学習する内容が、歴史全体のどのあたりの出来事なのかを毎時間確認できるとよい。
【年表などを掲示しておく。】

【板書の例】



この1時間で、何を説明し、何を考えさせるかをはっきりさせて授業に臨む。

【発問例】モンゴルの襲来によって御家人たちは幕府に対してどのような気持ちを持つようになったのだろう。また、なぜそう思うようになったのだろう。 個人で考え→班で話し合う

教師が説明すべきことは説明し、**生徒に考えさせるべきこと**はじっくり考えさせる！

考えさせるための発問を用意し、まずはじっくり考えさせ、話し合ったり作業をさせたりしながら深め、自分の言葉でまとめさせる。

思考の流れ

御家人が活躍したこともあって元軍は退いた。

外国との戦いのため新しい領地が得られなかった。

御家人に十分な恩賞（土地）が与えられなかった。

御恩と奉公の関係が崩れ、幕府への反感が強まった。

【中学校 数学ベーシック】

【授業をはじめる前に】

生徒の実態をより具体的に把握しておく！

全国学テや県学調
レディネステスト等



各領域の評価問題を作成しておく！

小学校から中学校までの指導内容の関連を把握しておく！

【授業の流れ】

【指導のポイント】

問題の提示

- ◎ **考えたくなる、解決したくなる**問題を工夫する！
⇒知識・技能を活用する能力を高め、数学を学ぶ意義を実感できるように問題を工夫する。
例：「日常生活や社会にかかわる問題」「他教科の学習と関連を図った問題」「数学の内容を発展させた問題」「様々な条件を含んだ問題」等
- ◎ ICTなどを効果的に活用し、問題提示の仕方を工夫する。

課題の設定

- ◎日常生活や社会にかかわる場面を理想化したり、単純化したり、問題の条件を変えたりするなどして、課題を見いだし**目的意識**を持たせる。
- ◎本時の学習でできるようにならなければ具体的な課題を提示し、**本時のねらい**を明確にする。
- ◎本時のねらいは、必ず板書し、生徒のノート等にも記述させる。

見通しをもつ

- ◎既習の知識・技能を**生徒の交流**やノート等で想起させる。（学び直し）
- ◎具体的な数の場合や特殊な場合、類似の場面を基に解決方法を推測させ、**解決の見通し**をもてるようにする。

課題解決

- ◎見通しに基づき、数学的表現を用いて試行錯誤しながら**数学的活動**を十分に行わせる。（**個別に操作・作業できる教材を使うのも効果的！**）
- ◎調べた結果を基に、予想の正否や資料の傾向を判断させたり、未知の事柄を予測させたりする。
- ◎思考過程や判断の根拠などを、言葉や数・式・図・表・グラフなど、**数学的な表現**を用いてまとめさせる。

発表・話し合い

- ◎数学的な表現を用いて、**前提と結論を明示し、根拠を明らかにしながら順序よく説明させる**ようにする。
- ◎「簡単な考え・広く使える考え・似ている考え」「図や式のつながり」「内容・考え方・方法のよさ」など**話し合いの論点を明確に**して考えたことを伝え合わせるようにする。（**ペア学習、グループ学習等を工夫する！**）

まとめ

- ◎知識・技能の意味、考え方や表現方法、及びそれらの活用の仕方や**活用するよさ、数学を学ぶ意義や必要性**等の視点を明確にしてまとめさせる。
- ◎本時の課題とねらい整合性を図る。まとめは、必ず板書し、生徒のノートにも記述させる。

評価・ふりかえり

- ◎本時のねらいを絞り込み、その時間に**身に付けることを生徒に自覚させたり、学習したことの達成度を振り返らせたりする**活動を計画的に取り入れる。
例：自己評価表、自己評価シート、小テストの実施 等

【中学校 数学ベーシック】

【数学の授業づくりのポイント】

Point 1 数学的活動を位置づけた単元指導計画を作成する！

- ア 数や図形の性質などを見いだす活動
- イ 数学を利用する活動
- ウ 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動

※すべての内容について数学的活動を通して指導するのではなく、知識及び技能の定着を図るためには、大切なことはしっかりと教えることも必要！

Point 2 活用して考えたり判断したりする場面を設定する！

※既習の数学的な知識や表現・処理の仕方、数学的な見方や考え方など身に付けたことが、より進んだ数学の学習や日常生活に活用されていることを実感できる場面を設定する。

Point 3 事象を数理的に考察し表現する場面を設定する！

- ・数や図形の性質などを的確に表す
- ・根拠を明らかにして筋道立てて説明する
- ・自分の思いや考えを伝え合う

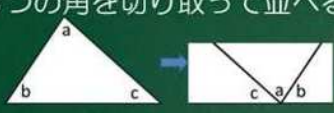
※数学的な表現（言葉や数、式、図、表、グラフ）などを適切に用いて、表現することの必要性や有用性を実感できる場面を積極的に設定する。

【板書の例】

五角形の内角の和

【三角形の内角の和】 180°

- ・分度器で測定
- ・3つの角を切り取って並べる



【四角形の内角の和】 360°

- ・四角形を三角形に分けて調べた

課題

三角形の三つの角の和が 180° であることを基にして、五角形の五つの角の和の求め方を考えよう。

見通し

○考え方：三角形に分割する。
○表し方：図 → 式 → 言葉

まとめ

五角形の五つの角の大きさの和は、三角形に分割して考えれば求められる。

図



式

$180 \times 3 = 540$

【1つの頂点Aから対角線を2本ひく】

$180 \times 5 - 360 = 540$

【内部に点Bをとり5つの頂点に線をひく】

$180 \times 4 - 180 = 540$

【返上に点Cをとり、その返上にない他の頂点に線をひく】

$180 \times 4 - 180 = 540$

【外部に点Dをとり5つの頂点に線を引く】

発展

六角形の六つの角の和を求めなさい。そのとき、六角形をどのように分割して考えたのか、図や式を使って考え方も述べなさい。



理科

【課題に整合したまとめになっているか】

課題

直列回路と並列回路に流れる電流の大きさには、**どのような規則性があるのだろうか。**

結論（まとめ）

直列回路では、回路の各点を流れる電流の大きさは、どこでも同じ。 **直列回路：** $I_a = I_b = I_c$
並列回路では、枝分かれする前の電流は枝分かれした後の電流の和に等しい。

並列回路： $I_d = I_e + I_g = I_i$

【授業の流れ】

【指導のポイント】

自然事象への
働きかけ

課題の設定

予想

実験計画

観察・実験

結果

考察

結論（まとめ）

ふりかえり

○前時までの学習を想起させる。
○実生活の事象などを想起させる。

○課題を明確にする。
疑問形にする。
「○○なのだろうか。」

○課題に対する予想を持たせ、そのように考えた理由も書かせる。

○実験計画を明確にすることで、どのような学習活動を行って課題を解決していくのか、見通しをもたせる。

○観察は、視点を示すこと。実験は目的を明確にすることが大切である。

○実験結果と予想を照らし合わせる。

○各班の結果を共有し、考察を深めさせる。

○児童の発言や板書等を生かしながら、結論をまとめる（一般化）。結論は、課題に対する答えになるようにする。

○**自分自身の言葉**でふりかえりを行う。

【導入の工夫】はじめの5分

課題をすぐに提示するのではなく、前時までの復習や実生活などを想起させ、課題に導く。

課題に対する解答が、本時の結論（まとめ）になる。課題を疑問形にすることで、生徒の問題意識をより高められる。

【例】…どのような規則性があるのだろうか。（○）
…流れる電流の大きさを調べよう。（×）

学習活動の見通しをもたせるために、実験方法や観察の仕方などを表示する。

【例】・方法や装置図を電子黒板に表示する。

・実験タイムテーブルを黒板に明示する。

※ **実験機器の操作は事前に時間をとり、パフォーマンステストなどで習熟させておく。**

実験…何を調べるために実験を行うのか、目的を明確にする。（課題の検証）

◇条件制御、比較対象を明示する。

観察…視点をもって調べる。

◇観察のポイントを明示する。

（状況によって、モニター等に提示してもよい）

ICT 機器（iPad や書画カメラ等）を用いて、実験結果や生徒のレポートを提示しながら発表させる。

実験結果を共有し、考察を通して、課題に整合した結論（まとめ）に導く。結論が課題に対しての答えになるようにする。

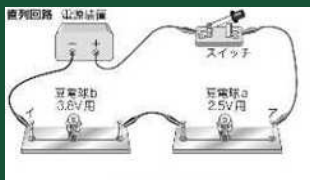
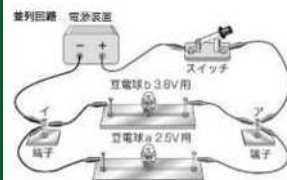
【板書の例】

実験 直列回路と並列回路を流れる電流

課題 直列回路と並列回路に流れる電流の大きさには、どのような規則性があるのだろうか。

予想 → 各自がレポートに記入

手順

考察

○直列回路では、A点、B点、C点の電流の大きさが全て等しい。

○並列回路では、枝分かれする前の電流の大きさは、枝分かれした後の電流の大きさの和に等しい。

まとめ

○直列回路 $I_a = I_b = I_c$

○並列回路 $I_d = I_e + I_g = I_i$

結果

	直列			並列					
	Ia	Ib	Ic	Id	Ie	If	Ig	Ih	Ii
1班									
2班									
3班									
4班									
5班									
6班									

実験終了 11:25

★結果の共有場面とICTの活用は非常に相性が良い

結果の表を表計算ソフト等で準備し、それをクラウド上に保存しておくことで、生徒は同時編集機能を利用しながら実験結果を入力することができる。このことにより、学級全体で実験結果をスムーズに共有し、考察する時間の十分な確保につなげられる。

また、観察・実験によっては、まなびポケットやTeamsの指定のチャンネル(チーム)内での投稿を利用することも有効である。

○ 実験を行った際に使用した板書（結果が見やすいように黒板を上下入れ替えてある）



実験レポートについて

課題・予想・方法・結果・考察を自分なりにレイアウトしてまとめる。

ICT 機器の利用

実験結果や生徒のレポートを全員に見せるために、iPad（ミラーリングやクラスルーム）、書画カメラ等を用いて説明を行う。



演示実験

電流計の操作や数値の読み取り

生徒発表

書いたレポートを使って発表



【中学校 英語ベーシック】



英語で授業

- ・授業は、英語で行うことを基本とする。
- ・生徒が英語に触れる時間を増やし、日本語の説明は最小限にとどめる。

コミュニケーション

- ・文法訳読に偏ることなく、互いの考えや気持ちを英語で伝え合う活動を充実。
- ・生徒が、即興的に表現する場面を設定する。

繰り返し

- ・言語はすぐに定着しない。何度も繰り返して指導。
- ・前単元、前学期、前年度の既習表現を、意図的に繰り返す活動を工夫する。

【授業の流れ】



【指導のポイント】

○毎時間、継続的に短時間で2、3活動を行う。
○5技能をバランスよく、ウォームアップと意欲の向上をねらう。

○単なるリピートではなく、まずは生徒に発話等させ、理解度を量る。

○Can-do List に基づき、5技能の目標を具体的に設定する。

【帯活動の活動例】

【教科書本文の定着】

- ・本文の日本語を見て英語で言う活動・前学年の教科書を音読

【既習表現の定着】

- ・先生とのQ&A・単語テスト・絵や写真を英語で表現する活動

【Inputの量を増やす】

- ・リーディング（多読・速読活動）・リスニング（精聴活動）

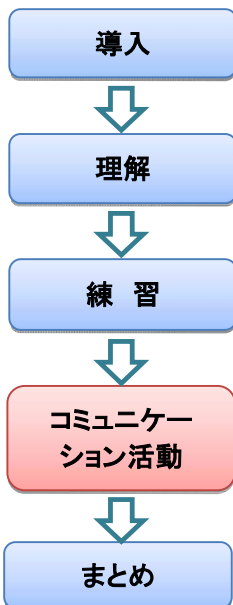
【Outputの場面作り】

- ・ペアでの会話活動・簡単スピーチ・1行英作文

【音声指導】

- ・英語の歌・チャンツ・発音クリニック・フォニックス

【新出文構造の導入】



○ALTとのスキットや生徒とのインタラクションから、新出文構造の意味に気づかせる。

○文構造の用法と意味を簡単に説明する。

○手を変え、品を変えパターンプラクティス。
○ICTの活用やペア活動など工夫する。

○生徒たちが互いの意見や考えを表現したり、理解したりする活動。

○文構造の用法と意味を改めて説明、確認する。

- ・導入はサラッと。日本語の説明は最低限に。
- × 文法のルールを日本語で長々と説明。
- × 最初から細かな決まりまで教え込む。
- ※ 教えたことはすぐには定着しない。繰り返し触れる場面を設定し、段階的に指導。

- ・何度も発話させ、自然と覚えてしまう様に。
- × 先生に続いて単にリピートするだけ。
- × 文法穴埋め問題や日本語に訳す問題。
- ※ 教科書の左ページを工夫して活用する。
(Basic Dialog, Listening, Speaking, etc.)

- ・決められた会話だけでなく、生徒が自分自身で即興的に表現する場面を設定する。
- × 単なるポイントかせぎゲーム。
- × コミュニケーションになっていない。
- ※ 生徒が「話したい」「聞きたい」「読みたい」「書きたい」と思う活動を工夫する。

ふりかえり 個別学習

○各自で学習を振り返り、家庭学習へとつなげる時間にする。

- ・生徒が各自のペースで、学習した内容を振り返ることができるように。
 - ・学習内容が定着するような家庭学習（宿題）の課題を示す。
- 【新出文構造の導入】ワークの関連ページ、ワークシート、ノート整理 etc.
【教科書の本文】本文の音読、本文の書き写し、単語練習 etc.

【中学校 英語ベーシック】

Tuesday, October 12th

【Goal】将来の職業について、1分以上会話しよう。

【Today's Point】 **want to** ～ 「～したい」
 I **want to** be a doctor.
 Do you **want to** help sick people?

- ・重要な板書は消さない。
- ・導入から難しい文法用語は使わなくてもよい。
- ・日本語をノートに写す作業はなるべく避ける。

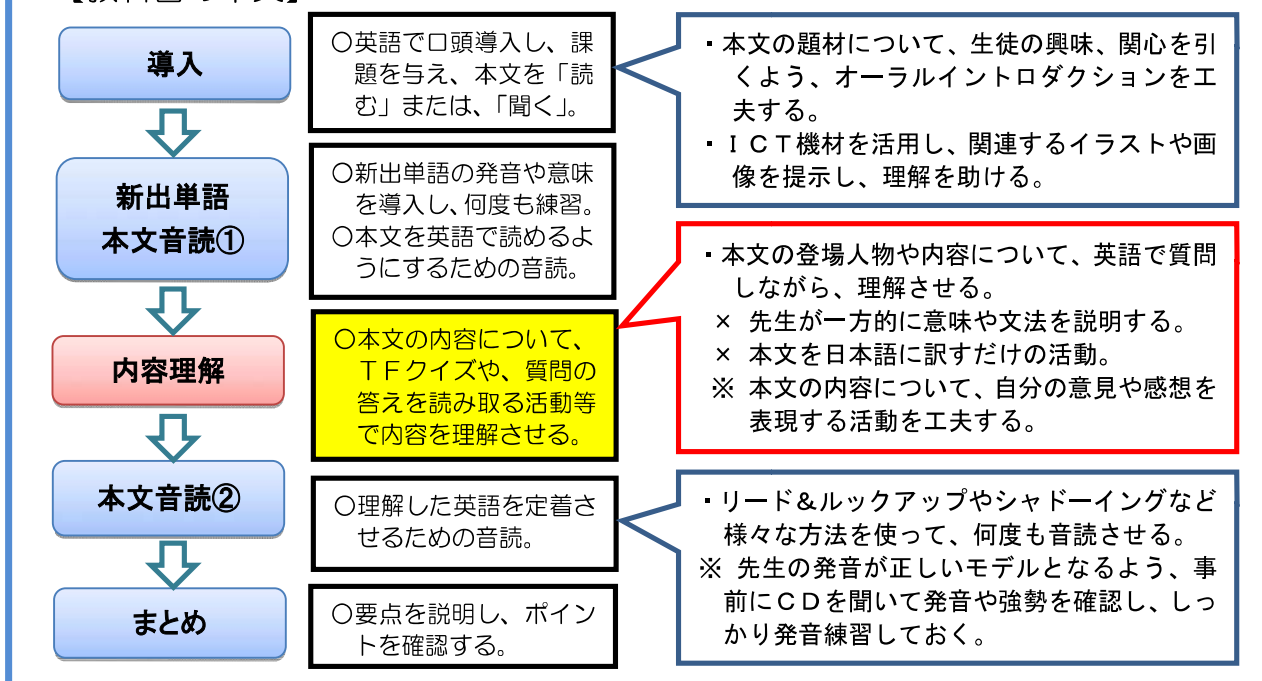
【スクリーン（デジタル教科書、パワーポイントの活用）】



I () to be a nursery school teacher in the ().

- ・スクリーンの文字は生徒が見やすいよう大きく、太くする。
- ・字体（フォント）にも配慮する。
- ・画像や写真を工夫し、見やすく提示する。

【教科書の本文】



【家庭学習（宿題）の基本】

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で学習した内容を復習する課題。 ○ 宿題は必ず提出等させ、確認し返却。 ○ 効果的な学習方法をきちんと教える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語嫌いを増やす宿題 × 毎回、単語意味調べと本文和訳 × 試験前だけ提出させるワーク × 先生が全く読まない英作文 |
|---|---|